



6月議会安道よし子の一般質問

どの学校も同じ教育環境に

私が、エアコンが設置されている学校と無い学校の子どもの現状について質すと、田中市長は、「体育の後などは、汗が引かず授業に集中出来ないなど、影響がでている」と答弁。

体調不良が「0人と40人」

体調不良による保健室利用は、エアコンのある学校とない学校で、ゼロ人と40人(昨年9月)と大きな差があります。残暑厳しい9月、運動会の練習後などは、子どもたちを涼しい場所で休ませたいものです。落ち着いて勉強できる環境にありません。

一日も早く何とかしたいと市

私が「この違いは直ちに改善すべき」と訴えると、市長は、「一日も早く何とかしたい」と答えました。

当初、エアコン設置は、耐震工事終了後と答えていたものの、「1教室当たり50万円程度で工事ができないか、中学3年生から、あるいは暑い教室から」など、設置に向け具体的に検討中であることを明らかにしました。

国庫補助に加え、県にも補助を求めると質すと、市長は「県にも補助を強く求める」と答えました。

平成24年度 体調不良により保健室に来室した児童・生徒数

	6月		7月		9月	
最高気温	29.8℃		36.1℃		33.6℃	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
エアコンあり	2名	2名	5名	4名	0名	2名
エアコンなし	20名	18名	15名	13名	40名	15名

*エアコンありは、金子小・中学校。エアコンなしは、同規模程度の小中学校。

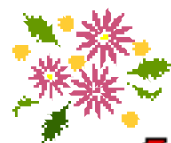
藤中前交差点に歩行者用信号機を

安川新道線の藤沢中学校前の交差点には、歩行者用信号機がありません。

私は、登下校時の生徒の安全のため、歩行者用信号機の設置を求めました。市長は埼玉県に強く要望すると答弁しました。

東町6丁目コンビニ付近に横断歩道と手押し式信号機を

国道463号の東町6丁目コンビニ付近に横断歩道と、手押し式信号機の設置を求めました。市長は、「地域の安全のために埼玉県に要望する」と答えました。



いつもはつらつ

安道よし子の

No. 30
2013年7月号

市議会通信



日本共産党市議会議員

参院選挙の前哨戦となった都議会議員選挙で、日本共産党が大躍進。

暮らしや憲法、原発問題など「政治を変えて欲しい」との願いが共産党に託されたのでしょうか。私も、みなさんのご支援により、3期目の議員活動をスタートさせました。みなさんの声を市政に届け「市民が主人公」目指し頑張ります。よろしくお願いします。



小・中学校にエアコンの設置を

《子どもは未来をつくる宝》

地球温暖化やヒートアイランド現象による夏の猛暑。特に埼玉県は気温の高い県として知られ、暑さの代表格となっています。

2500筆を超える署名が

学校に子どもを通わせている保護者の方々からは、「夏の暑さは昔と違う。子どもが倒れてからでは遅い」とエアコンの設置を求め、2500筆を超え

る署名が寄せられました。

県内でエアコン100%設置自治体は、さいたま市や飯能市、蕨市など9自治体。90%以上設置が熊谷市、朝霞市、和光市など。80%が新座市。60%以上で狭山市や小鹿野町などです。教育環境の整備は待ったなしの課題。子どもは未来をつくる宝です。私は教育環境の充実を求め一般質問しました。



みなさんの声を届けて働きます

安道よし子の連絡先 どんなことでもお気軽にどうぞ
電話・Fax 04(2962)8082 携 帯 090(4811)0553

生活必需品の値上がり続くなか

第2回定例議会

8月から生活保護基準が引き下げに

今議会に市から提出された21議案のうち、日本共産党は一般会計補正予算に反対し、その他の議案には賛成しました。

一般会計補正予算には、生活保護と中国残留邦人生活支援事業の給付費の変更に伴うシステム改修費が計上されました。

4人家族で月額6千円も減額に

これは、政府が物価の下落などを理由に生活保護費の支給額を段階的に削減するためのシステム改修に要する予算です。

今年の8月から支給額が3年かけて減らされ、最高10%の減額になります。40

代夫婦で小学1年生と2年生の子供がいる世帯では8月から月額6070円の引き下げとなり、平成27年度にはこの3倍の引き下げとなります。

食料品値上げでさらに厳しく

政府が引き下げの理由のひとつとしている物価下落の中身を見ると大きく下がっているのがパソコンやテレビなどの電化製品です。生活保護世帯の多くは家電製品を購入する余裕がありません。

逆に小麦、食用油などの食料品や生活必需品は値上がりしています。アベノミ

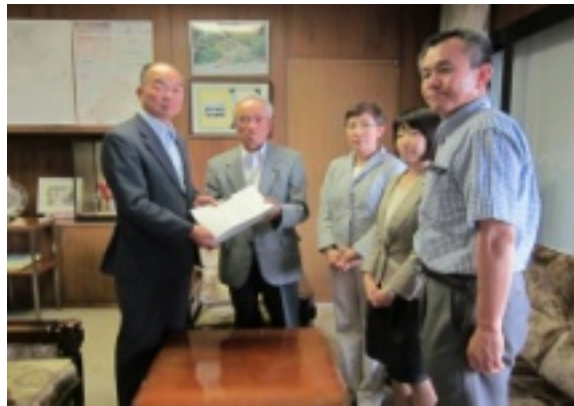
クスで生活が厳しさを増しています。

また生活保護費の引き下げは、新たに申請しても受給できない世帯が増え、年金や最低賃金、就学援助制度など多くの制度にも悪影響を与えます。

日本共産党入間市議団は「貧困と格差をさらに広げる生活保護基準引き下げを前提としたシステム改修の予算には賛成できない」と反対討論を行いました。



エアコン署名市長に提出



日本共産党市議団は、「小・中学校へのエアコン設置を求める署名」の第2次分を田中市長に提出しました。

「埼玉県立大学に医学部設置」求める意見書

埼玉県は人口10万人当たりの医師数が149人と全国最下位です。一方で、高齢化のスピードが全国で最も速く、医師不足の解消は緊急課題となっています。今議会に医師不足解消を求める意見書(案)が提出されました。

「全国的に医師不足が問題になっているなか、埼玉県は人口対比で医師数、一般病床数が全国で最も少ない。産科や小児科などの病院勤務医をはじめ、特に周産期医療、救急医療に携わる医師不足は

深刻であり、医師の勤務実態は過酷な状況である。急速な高齢化にともない、高齢者福祉や医療サービス体制の充実を求める県民の要望は、常に最上位である。

医師不足であるにもかかわらず、埼玉県内の国公立大学には、医学部が設置されていない。医師不足の解消は、県民の切実な願いであり、埼玉県立大学に医学部を設置することが強く求められている」との意見書が議会最終日に全会一致で可決されました。

平和憲法は世界遺産

元自民党幹事長の古賀誠氏が赤旗「日曜版」に登場しマスコミで話題になっています。古賀氏は、安倍首相の憲法96条改定の動きに黙っていられなくなったとのこと。一貫した政治姿勢を貫く共産党を信頼しての登場です。

「現行憲法の平和主義、主権在民、基本的人権という崇高な精神は尊重しなければならない。なかでも平和主義は『世界遺産』に匹敵する」と古賀氏は強調しました。

いまこそ、戦争反対を貫き、平和憲法を守り生かす政治の実現を。平和憲法守れの輪を広げに広げましょう。

共産党議員の一般質問

小出わたる議員

学童保育の充実とやかん坂に歩道を

石田よしお議員

就学援助制度の拡充、命のペンダント

吉沢かつら議員

認可保育所の増設で待機児童の解消を

安道よし子議員

学校にエアコン設置で教育環境改善を

日本共産党市議会報告

2013年7月

発行/日本共産党入間市議団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883